

2025年度
高知市政・市民アンケート
まとめ

2026年5月

日本共産党高知市議団

はじめに

日本共産党高知市議団は、2年に1回程度、独自の市民アンケートを実施してきました。

今回のアンケートは、2025年11月に、市内の全世帯を対象にして、市議団ニュースとともにアンケートを配布したものを、郵送により返信していただいたものと、アンケートに記載した QR コードから回答フォームへの入力により回答していただきました。

日本共産党高知市議団の「高知市政・市民アンケート」に対して、みなさんのご協力にこそから感謝いたします。

■ アンケート集約数 **1906 件**（文書 1624、データ 282）

■ アンケート実施期間 2025 年 11 月～2026 年 1 月末まで

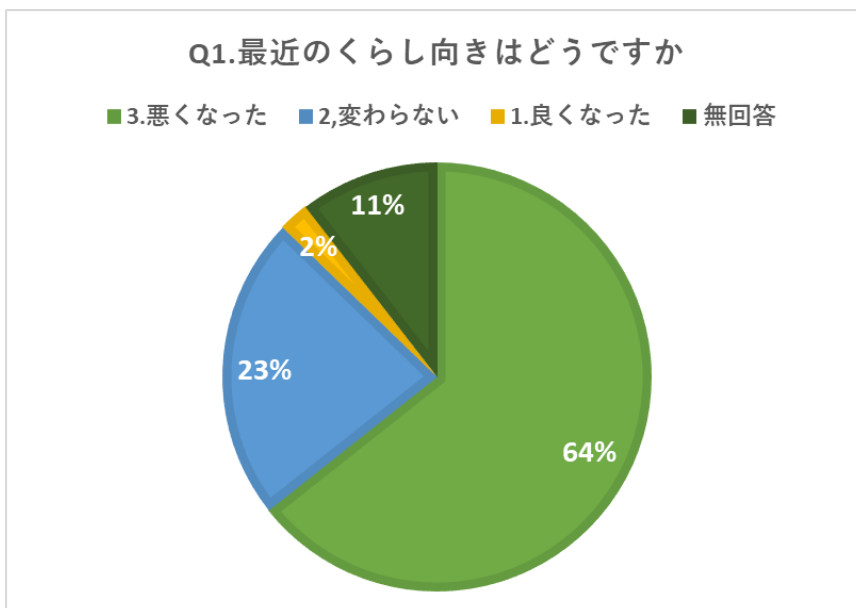
■ 回答者について

・60 代～80 代以上の回答者が 62%、50 代以下の回答者が 38%

・回答者の 6 割は「無職」の方で、「その他」の方が 12%「自営業」「正規雇用」の方が 11%、「パート・非正規雇用」の方が 4%、「農林漁業」「休職中」の方が 1%

・1 人世帯の方が 47%、2 人世帯の方が 46%、3 人世帯以上が 7%

1. 暮らしについて



アンケート結果からは、物価高騰などで暮らし向きが「悪くなった」との回答が多いことが特徴的です。

◎2022 年との比較

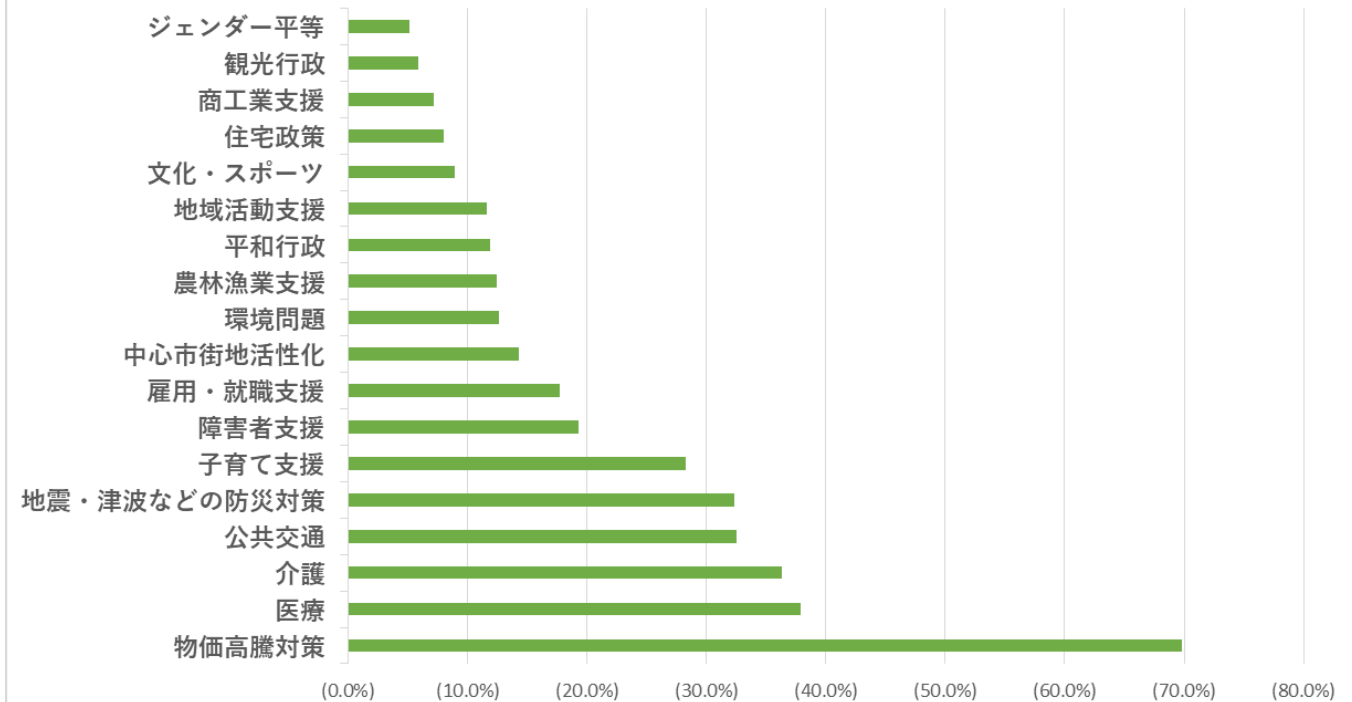
「悪くなった」との回答者は 55.6%となっており、近年の物価高騰が暮らしに大きな影響を与えています。

2. 高知市にとりくんでほしいこと

高知市にとりくんでほしいことについて、「物価高騰対策」が 7 割となっています。

「医療」「介護」「公共交通」「地震・津波などの防災対策」と続きます。その他、自由記述欄からは、生活への負担軽減について、給付金や減税を求める具体的な要望や、世代間への支援が公平に行きわたるようにしてほしいとの声もたくさんいただきました。

Q2.高知市に今より力を入れて取り組んでほしいこと(いくつでも)

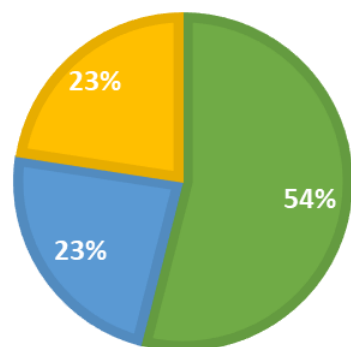


3. 県市の課題

(1) 消防「県一化」について

Q3. 消防「県一化」について

- 1. 時期尚早、今は各消防署の機能向上を図ってほしい
- 2. 経費削減になるので推進を
- 無回答



県が進めようとしている、県内 15 ある消防本部を一つにする案について、アンケートでは、5割の方が、今は「消防機能向上を図ってほしい」という回答でした。

一方で、「よくわからない」と自由記述欄に書いた方が多数いらっしゃいます。「市民への説明が全く不十分」「知らない人も多いので周

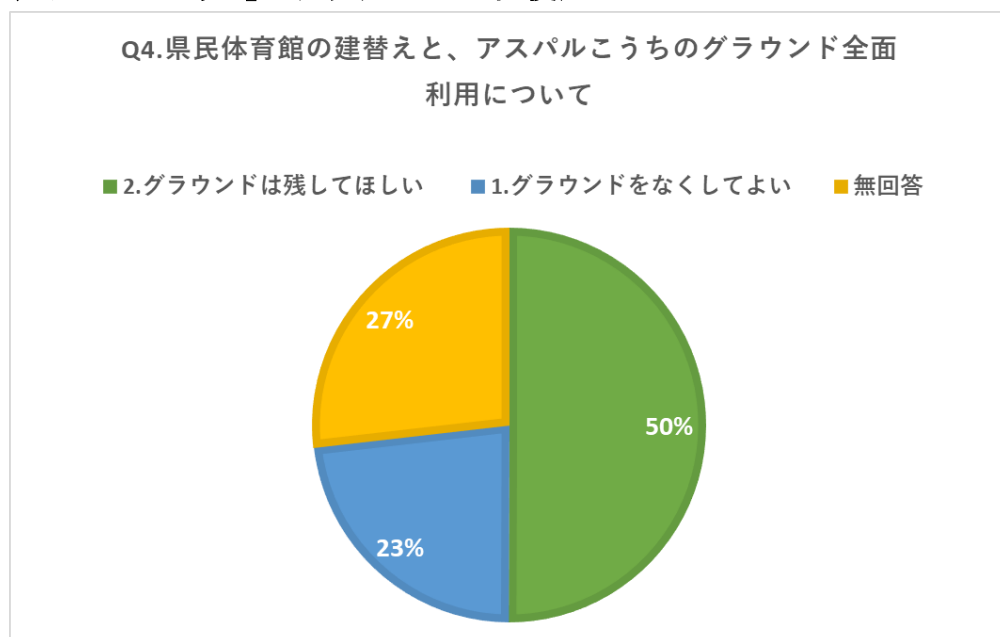
知してほしい」など、十分な情報が届いていないことも感じています。

時間をかけて議論し、市民に対しても説明を行っていくこと、そのうえで今後の最適な在り方を検討していくことが重要です。

(2) 県民体育館の建替えと、「アスパルこうち」のグラウンドの全面使用について

県がおこなう県民体育館の建替えにともない、高知市青年センター「アスパルこうち」のグラウンドを全面利用して、アリーナ建設をされる案が、県市との間で合意されてしまいました。

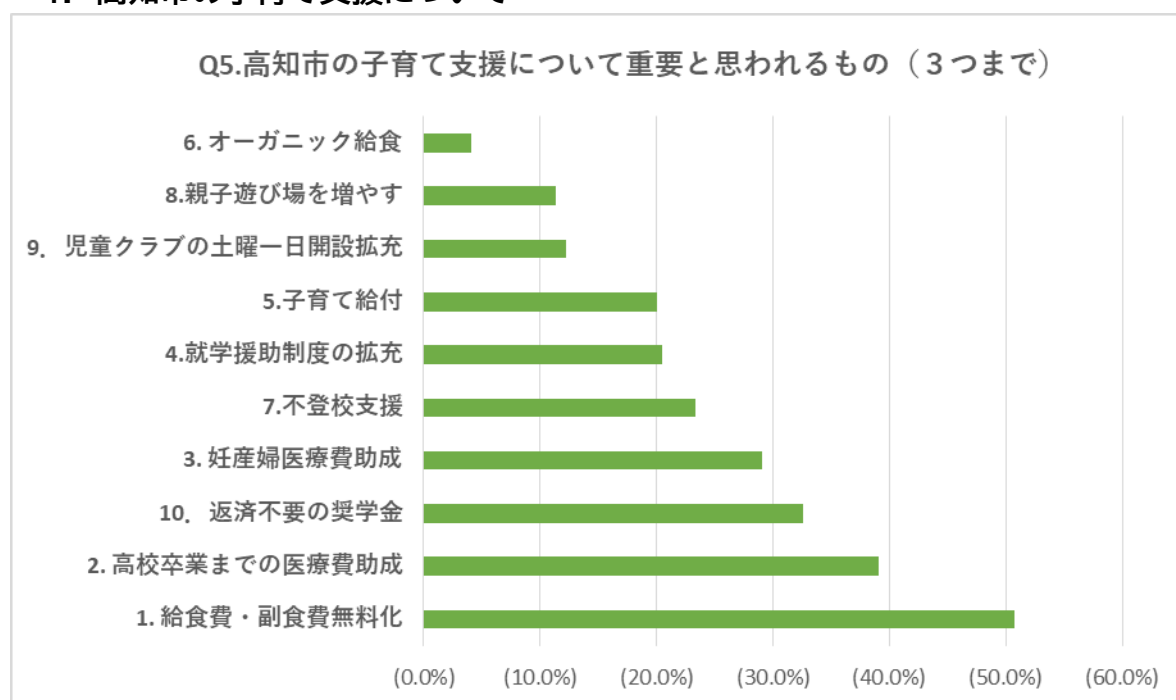
アンケートでは、「グラウンドを残してほしい」という回答が **50%** となっています。あわせて、今回の県民体育館の建替え案についてのご意見が多数寄せられています。



* グラウンドもプールも必要。誰のための施設ですか？ (30代・正規雇用・3人世帯)

* 津波、浸水のある場所に大規模なものを作る意味はあるのか？ (60代・無職・2人世帯)

4. 高知市の子育て支援について



子育て支援策については、「給食費・副食費の無料化」が最も多い要望となっています。2026年度から小学校給食について国が実質無償化に乗り出し、高知市でも保護者負担 600 円と大き

く負担軽減となりました。無償化まであと一歩、実現に向けた取り組みが急がれます。

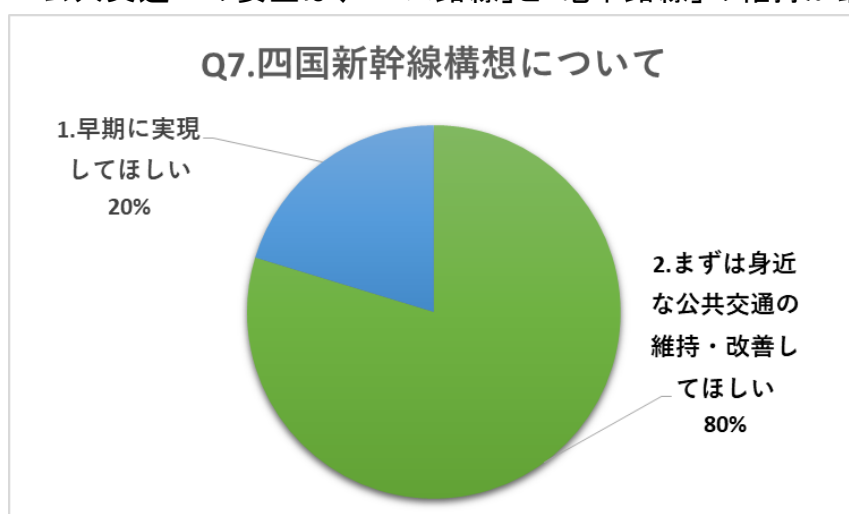
◎不登校支援についても具体的な要望をお聞きしました。

* 不登校の子がいましたが、いつも保健室しか部屋がなく、先生もベテランではなく毎年新人の先生ばかりが対応していました。特別学級を充実した部屋を作ってほしいです。教育委員会へ言って下さい。自閉症のためコミュニケーションがとれず先生も大変だと思いますが、よろしくお願いします。(40代・正規職員・3人世帯)

5. 高知市の公共交通について



公共交通への要望は、「バス路線」と「電車路線」の維持が最も多い回答でした。「今以上バスの便が、なくなれば利用できなくなる」など、切実な声が寄せられています。

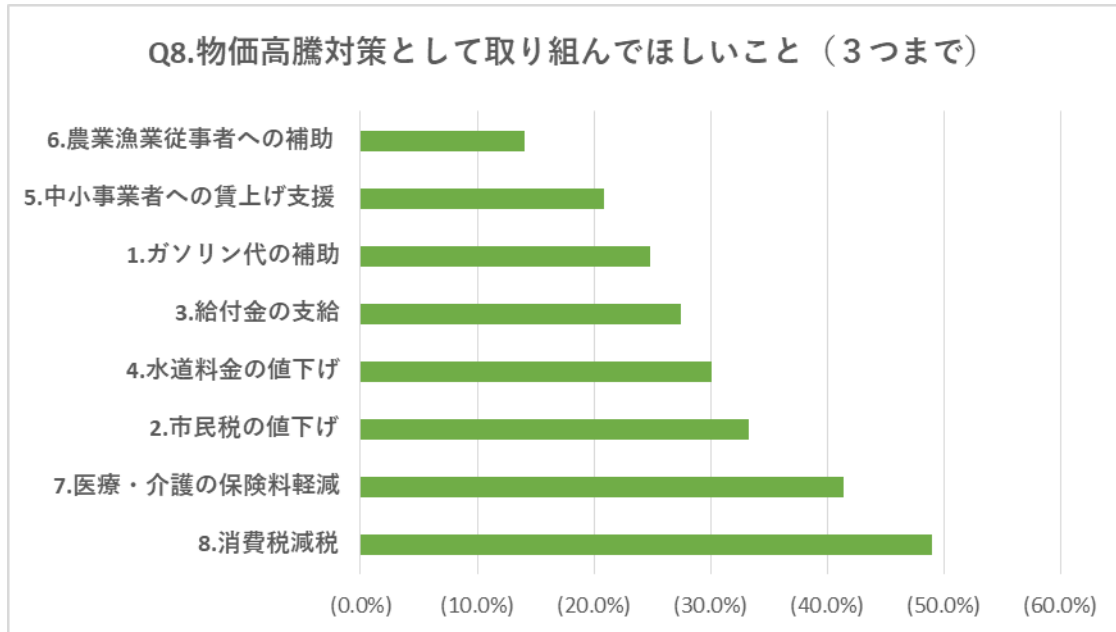


また、四国新幹線構想については、8割の方が「身近な公共交通の維持・改善」を要望しています。「不要」「赤字になる」などのご意見をいただいています。

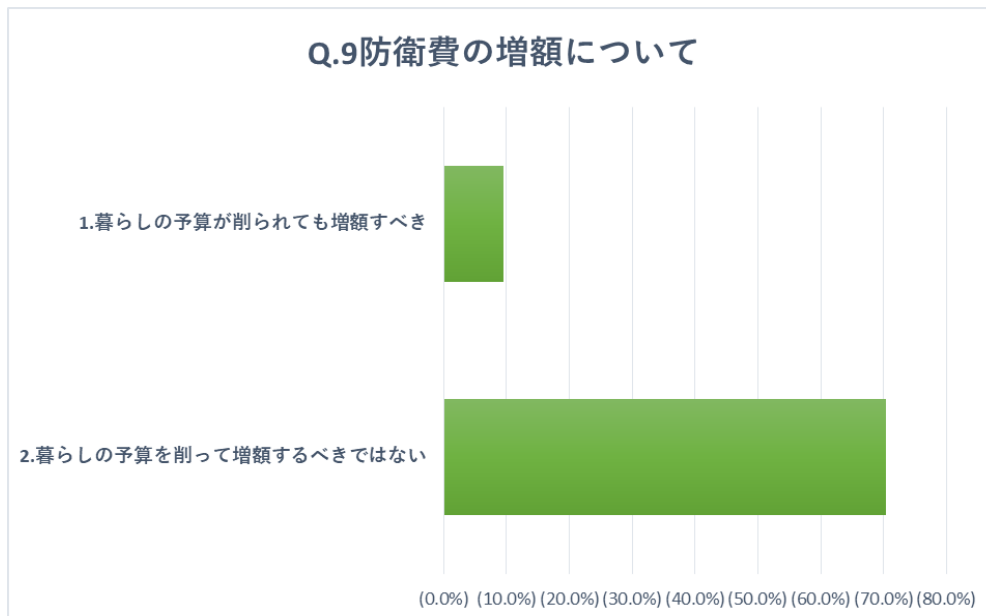
6. 物価高騰対策への要望

物価高騰対策としての具体的な要望は、「消費税の減税」「医療・介護保険料の軽減」「市民税の値下げ」が多い回答でした。水道料金の値下げについては、今年度7月～10月の4か月間、基本料金の8割減免が実施されることとなっています。

現在も物価高騰は続いているため、引き続き支援策が求められています。



7. 防衛費の増額について



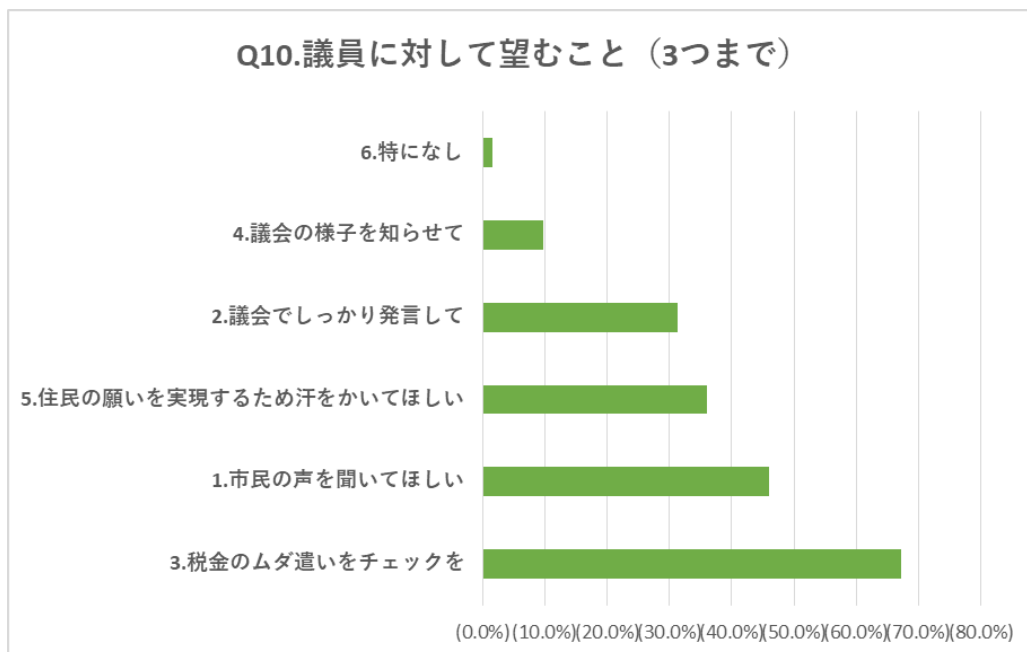
防衛費の増額についても回答いただきました。「暮らしの予算を削って増額するべきではない」が7割にのぼっています。

「戦争はいや」だから「日本を守るためには防衛費を増やすことも仕方ないのでは」という方もいらっしゃると思います。日本共産党は、カナダの

ブリティッシュコロンビア大学の教授で核軍縮問題に取り組んだ著名な研究者、マイケル・D・ウォレス氏が、1979年に発表した研究「軍拡競争とエスカレーション:いくつかの新しいエビデンス」で『軍拡競争が82%の確率で戦争にエスカレートした』という結論などに注目し、軍事的抑止力の力で平和をつくれないと考えています。またトランプ政権の求める「GDP比5%の防衛費」となれば、国民1人当たり28万円にもなり、暮らしと両立できません。

8. 議員に対して望むこと

最後に、議員に対して望むことについても、お聞きしました。「税金のムダ遣いをチェックして」がもっとも多い回答となりました。みなさんから寄せられた声に真摯に向き合い、今後も市民の声をしっかりと市政へと届けてまいります。



おわりに

今回のアンケートの結果について、総じて市民意識から浮かび上がるのは、「暮らしを守る市政」への強い要請です。物価高騰の影響が広がる中で、多くの市民が生活の悪化を実感しており、市政にはまず足元の不安を和らげる即効性のある対策が求められています。多くの意見がありますが、消費税負担の軽減や公共料金の引下げ、医療・介護にかかる費用負担の軽減、不登校対策など、日常生活や教育に直結する分野での支援を優先的に対応することが必要です。

今後の市政運営においては、市民の声を丁寧にすくい上げ、政策決定に反映させるとともに、分かりやすい情報発信と説明責任を果たすことが信頼確保の鍵となります。生活を支える具体的施策と中長期的な持続可能性を両立させることで、「安心して暮らせるまち」の実現に向けた着実な前進が求められています。

基礎自治体である高知市の役目は市民の暮らしを支える事。それを忘れてはなりません。今回のアンケート結果を受け止め「安心して暮らせるまち」の実現に向けて、これからも日本共産党高知市議団として全力で取り組みを進めてまいります。

市民の皆様のご協力ありがとうございました。

日本共産党高知市議団

「2025年度 高知市政・市民のくらしアンケート」				最終集約		2026年4月9日	
				集約数1906件(文書1624、データ282)			
Q1.最近のくらし向きはどうか。				Q6.高知市の公共交通に求めること(回答3つまで)			
3.悪くなった		1226	(64.3%)	1.バス路線の維持		1215	(63.7%)
2.変わらない		437	(22.9%)	2.電車路線の維持		984	(51.6%)
1.良くなった		44	(2.3%)	5.運転手の処遇改善		606	(31.8%)
				3.ドライバーの確保		430	(22.6%)
Q2.高知市に今より力を入れて取り組んでほしいことは、次のうちどれですか。(いくつでも)				4.料金値下げ		386	(20.3%)
物価高騰対策		1331	(69.8%)	7.デマンドタクシーの拡充		258	(13.5%)
医療		723	(37.9%)	6.ICカードの普及		178	(9.3%)
介護		693	(36.4%)	Q7.四国新幹線構想について			
公共交通		620	(32.5%)	2.まずは身近な公共交通の維持・改善してほしい			
地震・津波などの防災対策		617	(32.4%)			1265	(66.4%)
子育て支援		539	(28.3%)	1.早期に実現してほしい			
障害者支援		368	(19.3%)			322	(16.9%)
雇用・就職支援		337	(17.7%)	Q8.物価高騰対策として取り組んでほしい(3つまで)			
中心市街地活性化		273	(14.3%)	8.消費税減税		933	(49.0%)
環境問題		241	(12.6%)	7.医療・介護の保険料軽減		790	(41.4%)
農林漁業支援		238	(12.5%)	2.市民税の値下げ		635	(33.3%)
平和行政		226	(11.9%)	4.水道料金の値下げ		574	(30.1%)
地域活動支援		222	(11.6%)	3.給付金の支給		523	(27.4%)
文化・スポーツ		170	(8.9%)	1.ガソリン代の補助		473	(24.8%)
住宅政策		153	(8.0%)	5.中小事業者への賃上げ支援		398	(20.9%)
商工業支援		136	(7.1%)	6.農業漁業従事者への補助		269	(14.1%)
観光行政		112	(5.9%)	Q9.国は暮らしの予算より防衛予算を大幅に増額していることについて			
ジェンダー平等		98	(5.1%)	2.増税したり暮らしの予算を削って防衛予算を増額するべきではない		1343	(70.5%)
Q3.高知県が主導して、県内15ある消防本部をひとつにする消防「県一化」が現在議論されています。早ければ2026年3月にその方向性を決めようとしています				1.暮らしの予算が削られても防衛予算は増額すべき		183	(9.6%)
1.時期尚早、今は各消防署の機能向上を図ってほしい							
		1029	(54.0%)	Q10.議員に対して望むことは(3つまで)			
2.経費削減になるので推進を				3.税金のムダ使いをチェックを			
		447	(23.5%)	1.市民の声を聞いてほしい		877	(46.0%)
Q4.県がおこなう県民体育館の建て替えと、それにともない高知市青年センター「アスパルこうち」のグラウンドの全面使用案が出されていることについて				5.住民の願いを実現するため汗をかいてほしい			
2.グラウンドは残してほしい						687	(36.0%)
		954	(50.1%)	2.議会でしっかり発言して			
1.グラウンドをなくしてよい						596	(31.3%)
		441	(23.1%)	4.議会の様子を知らせて			
Q5.高知市の子育て支援について重要と思われるもの(3つまで)				6.特になし			
1.給食費・副食費無料化				30			
		967	(50.7%)	回答者			
2.高校卒業までの医療費助成				【年代】			
		744	(39.0%)	【お仕事】			
10.返済不要の奨学金				10代	11	正規雇用	132
		621	(32.6%)	20代	111	パート・非正規雇用	42
3.妊産婦医療費助成				30代	141	自営業	131
		554	(29.1%)	40代	182	農林漁業	12
7.不登校支援				50代	224	休職中	8
		445	(23.3%)	60代	372	無職	676
4.就学援助制度の拡充				70代	487	その他	128
		391	(20.5%)	80代以上	258	【世帯構成】	
5.子育て給付				1人世帯			
		382	(20.0%)	602			
9.児童クラブの土曜一日開設拡充				2人世帯			
		234	(12.3%)	593			
8.親子遊び場を増やす				3人世帯以上			
		216	(11.3%)	86			
6.オーガニック給食							
		77	(4.0%)				

「2025年度 高知市政・市民のくらしアンケート」

お米や電気代など、様々な物が値上がりなど市民のくらしは厳しさを増しています。私たち日本共産党高知市は定期的に、市民のみなさんのくらしの実態や願いを直接お聞きし、市政に届けるためのアンケートを行っています。お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

※スマホで入力されたい方は、QRコードを讀ませてください

2025年11月 日本共産党高知市議員



Q1.最近のくらし向きはどうか。(該当する数字に○をしてください)

1. 良くなった 2.変わらない 3.悪くなった

Q2.高知市に今より力を入れて取り船んでほしいことは、次のうちどれですか。(いくつでも)

- 0.物価高騰対策 1.医療 2.介護 3.障害者支援 4.子育て支援 5.中心市街地活性化
6.雇用・就職支援 7.商工業支援 8.地震・津波などの防災対策 9.農林漁業支援
10.文化・スポーツ 11.環境問題 12.平和行政 13.観光行政 14.公共交通
15.地域活動支援 16.住宅政策 17.ジェンダー平等 18.その他*

*18.その他の内容はここに []

くらしでの不安なことなど具体的にあればお書きください []

Q3. 高知県が主導して、県内15ある消防本部をひとつにする消防「県一化」が現在議論されています。早ければ来年3月にその方向性をきめようとしています。(該当するもの1つ)

(※「県一消防」について詳しくは同封資料をご参照ください)

- 1.時期尚早、今は各消防署の機能向上を図ってほしい 2.経費削減になるので推進してほしい
3.その他 []

Q4.県がおこなう県民体育館の建て替えと、それにともない高知市青年センター「アスナルこうち」のグラウンドの全面使用案が出されていることについて(該当するもの1つ)

(※「新県民体育館」について詳しくは同封資料をご参照ください)

- 1.グラウンドをなくしてよい 2.グラウンドは残してほしい
3.その他 []

Q5.高知市の子育て支援について重要と思われるもの(複数回答 3 つまで)

1. 給食費・副食費無料化 2. 高校卒業までの医療費助成 3. 妊産婦医療費助成
4. 就学援助制度の拡充 5. 子育て給付 6. オークニック給食 7. 不登校支援
8. 親子遊び場を増やす 9. 児童クラブの土曜一日開設拡充 10. 返済不要の奨学金 11. その他*
*1.その他の内容はここに []

Q5-2.不登校支援での具体的な要望があればお書きください

[]

Q6.高知市の公共交通に求めることについて(複数回答 3 つまで)

1. バス路線の維持 2. 電車路線の維持 3. ドライバーの確保 4. 料金値下げ
5. 運転手の処遇改善 6. ICカードの普及 7. デアンプタクシーの拡充
※公共交通についてご意見やご要望があればお書きください
自由記載欄 []

Q7.四国新幹線構想について(該当するもの1つ)

- 1.早期に実現してほしい 2.まずは身近な公共交通の維持・改善してほしい
3.その他 []

Q8.物価高騰対策として取り船んでほしいことについて(複数回答 3 つまで)

- 1.ガソリン代の補助 2.市民税の値下げ 3.給付金の支給 4.水道料金の値下げ 5.中小事業者への
賃上げ支援 6.農業漁業従事者への補助 7.医療・介護の保険料軽減 8.消費税減税
そのほか、ご意見やご要望があればお書きいただけます。
自由記載欄 []

Q9.国は暮らしの予算より防衛予算を大幅に増額していることについて(該当するもの1つ)

- 1.暮らしの予算が削られても防衛予算は増額すべき 2.増税したり暮らしの予算をけずって防衛予
算を増額するべきではない 3.その他 []

Q10.議員に対して望むことは何ですか?(複数回答 3 つまで)

- 1.市民の声を聞いてほしい 2.議会ですっきり発言してほしい 3.税金のムダづかいをチェックして
ほしい 4.議会の様子を知らせてほしい 5.住民の願いを実現するため汗をかいてほしい 6.特にな
し 7.その他*
*7.その他の内容はここに []

Q11.市政への要望、お困りのこと、日本共産党へのご意見などなんでもお書きください

[]

- ご回答者の年齢 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上
■お仕事 正規雇用 パート・非正規雇用 自営業 農林漁業 休職中 無職 その他
■世帯構成 1人世帯 2人世帯 3人世帯以上

■お構いなければ記入をお願いします。

お名前 _____

ご住所 _____

メールアドレス _____

アンケート結果はホームページでお知らせします。

個別で集計結果が必要かどうか、どちらかに○をつけてください(要 / 不要)

(※:ご回答の個人情報、本目的以外では使用しません。ご協力ありがとうございました)